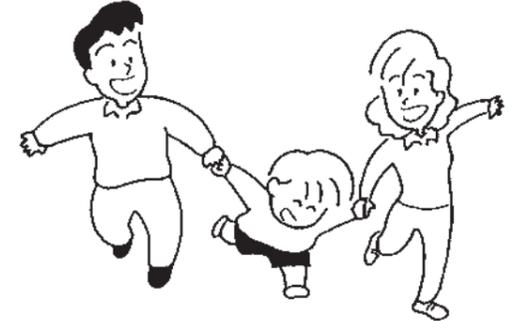


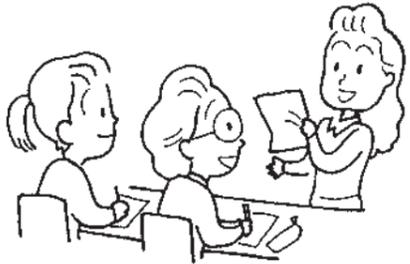
城陽市社会福祉協議会 地域福祉活動計画Ⅳの構成



たよられる

いつも頼りにされる組織づくり

- (9) 市社協組織と財政の強化
- ③⑤ 安定的な事業収入の確保
 - ③⑥ 独自財源と基金等運用益の確保
 - ③⑦ 公的助成の継続確保と新規財源検討
 - ③⑧ 様々な分野(企業等)との連携強化と全体的なまちづくり展望
 - ③⑨ 職員自体の資質向上(共通研修強化)
- (10) 適切な情報管理と緊急時体制の構築
- ④⑩ 個人情報保護と適切な個人情報管理
 - ④⑪ 災害等緊急時の運営体制の確立(マニュアル作成と平常時運営)
 - ④⑫ 第三者評価及び苦情解決体制の充実
 - ④⑬ 規程等の整理とコンプライアンス向上(法令・規範・倫理の遵守)



かなえる

一人の思いを叶えるなかまづくり

- (7) 福祉教育・福祉啓発・ボランティア活動の推進
- ⑤⑫ 幅広いボランティア活動の推進と活動者の確保
 - ⑤⑬ 時代にあったボランティアの育成と活動支援(支えあい・日常生活課題)
 - ⑤⑭ 福祉教育から発展させる地域福祉活動(学校との協働)
 - ⑤⑮ 自治会との連携による小地域見守り活動の強化
 - ⑤⑯ 啓発とPRの強化(常時情報発信体制の構築)
 - ⑤⑰ 企業の社会貢献促進と連携を強化できる事業検討(CSRの促進)
- (8) 福祉サービス利用支援の充実
- ⑥① 権利擁護事業の充実(支援体制強化と質の向上)
 - ⑥② 各種サービス利用における適切な相談と誘導の実施
 - ⑥③ 法人後見、市民後見人養成等への理解
 - ⑥④ 地域包括支援センターをはじめとする相談体制の充実

4

身近な地域のつながりを強めるネットワークづくり

- (1) 校区社協活動と基盤の強化支援
- ① 活動を支える人材の確保
 - ② 校区社協各活動の充実
 - ③ 拠点の全校区設置と安定財源の確保
 - ④ 校区別計画の策定
- (2) 住民と専門職で創りあげる福祉コミュニティ
- ⑤ ふれあいサロンと地域コミュニティの融合(集う場所の多機能化)
 - ⑥ 専門機関から住民への積極的なアプローチ(知識・技術還元と社会貢献)
 - ⑦ 日頃から気軽に相談し交流できる信頼関係の構築
 - ⑧ 地域住民と専門職と一緒に見守る体制づくり
 - ⑨ 住み慣れた地域で生活するための仕組みづくり(地域包括ケアシステム)

1 つながる

あの人
の幸せを
私の幸せに

～社会全体で取り組む、協生のまちづくり～

2 あつまる

安心して気軽に集まれる地域の居場所づくり

- (3) 福祉活動を行う人たちと活動場所の充実
- ⑩ 共同でつくる地域拠点の設置検討
 - ⑪ 既存民家・空き家の活用から公共財産活用への転換
 - ⑫ 地域福祉活動現場と専門職の相談場所の共存
 - ⑬ 活動拠点を支えるための人員配置検討
- (4) 課題を抱えた人たちが気軽に集まれる場所の発掘と当事者支援
- ⑭ 障がい者等サロンの発掘
 - ⑮ 子育て交流等若い世代を支える取り組みの充実
 - ⑯ 様々な課題を抱えている人への支援(障がい・貧困・孤立・虐待)
 - ⑰ 福祉施設との協働事業による課題の共有
 - ⑱ 当事者団体との定期的情報交換

3

ささえる

暮らしの基盤を地域と支える仕組みづくり

- (5) 公的制度における福祉サービスの充実
- ⑲ 介護保険事業等サービスの質の向上
 - ⑲⑩ 介護予防の強化
 - ⑲⑪ 委託等事業の適正運営
- (6) 制度外の独自事業の充実と社会資源の活用
- ⑲⑫ 暮らしを支える独自事業の充実
 - ⑲⑬ 社会資源の調査と活用できる仕組みづくり
 - ⑲⑭ サービス提供者がともに学び情報交換できる機会の設定

